

子ども読書支援センターニュース No. 150

2016. 11. 30

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★幼児のためのクリスマスおはなし会

○日時：平成28年12月13日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 ○対象：幼児

★第3回新刊児童書閲覧会

○日時：平成28年12月3日（土）13：30～15：30

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしょじつ3階） ○対象：市町図書館職員、学校図書館関係者、ボランティア関係者、子どもの本に関心のある方 ○定員：30名程度（要申込み・先着順）

★平成28年度学校図書館セミナー「学校図書館の可能性」～学校司書の仕事から見てきたもの～

○日時：平成28年12月23日（金・祝）13：00～15：00 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしょじつ3階） ○講師：加藤 容子氏（津山市立北陵中学校 学校司書） ○対象：県内の教諭、司書教諭、学校司書、学校図書館担当事務職員、学校図書館ボランティア、公共図書館職員 ○定員：60名（要申込み・先着順）

○申込締切：12月16日（金）

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本一乳幼児から>

『パンダなりきりたいそう』 いりやまさとし/作 講談社 2016.10 ¥1000

パンダなりきり体操始めるよ。両手を上にあげて、ぐーんと身体を伸ばしたら、ほら、チューリップ。両手を横に伸ばして、片足あげて、ぐるぐるんと回ったら、ほら、コマに。手足を伸ばしたり、体をゆらしたりなどの簡単な体操で、バナナや飛行機などになりきるよ。親子で、保育園や幼稚園などで、誰かと一緒に体を動かしてみよう。「パンダともだちたいそう」もあり。

<絵本一3、4歳から>

『どでんかぼちゃ』 いわさゆうこ/さく 童心社 2016.10 ¥1000

かぼちゃのつるが「しゅるしゅる どんどん つる どんどん」と地面の上をどんどんのびて、畑を葉っぱで埋め尽くす。かぼちゃの花が咲き、実がずんずん大きくなり、立派なかぼちゃができるまでの様子を、リズムカルな擬音と美しい絵でわかりやすく伝える。カラフルな西洋かぼちゃや日本のかぼちゃなど、たくさんの種類のかぼちゃも紹介。「どーんとやさしい」シリーズの最新刊！

『これはすいせいせん』 谷川俊太郎/ぶん tupepa tupepa/え 金の星社 2016.9 ¥1500

これは水平線の向こうから流れてきた家。これは水平線の向こうから流れてきた家で昼寝していたおじいさんのガブリエル。これは水平線の向こうから流れてきた家で昼寝していたおじいさんのガブリエルがいつも見ている大事な絵本…。ページをめくるたびに、言葉がどんどん重なり長くなる“つみあげうた”絵本。インデックスにはお洒落たしかけが附いている。

『まあちゃんのすてきなエプロン』 たかどのほうこ/さく 福音館書店 2016.10 ¥900

お母さんが、まあちゃんにぬってくれた新しいエプロン。青い布地に、赤、黄、ピンクのポケットが3つもついて、おまけにそれぞれ共布で作ったハンカチ付き。まあちゃんは、エプロンをしめてピクニックに出かけますが、途中で出会った動物たちがポケットの中のハンカチをこっそり持っていき…。ユーモラスな「まあちゃん」シリーズの一冊。

『きょうはそらにまるいつき』 荒井良二/著 偕成社 2016.9 ¥1400

あかちゃんがそらをみえています。きょうはそらにまるいつき。みんながそらをみえています。きょうはそらにまるいつき…。町に暮らすそれぞれの人に、それぞれの暮らしの場所に、ごほうびのようなやさしい月の光がふりそそぐ…。繰り返されるリズムのよい言葉と、荒井良二による美しい色彩の絵が深い印象を残す。月をテーマにした詩的な絵本。

『七五三だよー・二・三』 長野ヒデ子/作・絵 佼成出版社 2016.10 ¥1300

今年は、お姉ちゃんが七歳、ゆうちゃんが五歳、ゆりちゃんは三歳。みんなそろって、うれしい七五三。待ちに待ったお祝いの日は、レンタルの着物を着て、家族みんなで神社にお参り。お参りした後は、お祝いの「千歳あめ」をもらって、みんなで家に帰ります。子どもたちの健やかな成長を祝う「七五三」の行事と、にぎやかな家族の一日を温かく描いた絵本。

<絵本一小学校低学年から>

『どうして博物館に隕石が展示されたの!?!』 ジェシー・ハートランド/さく 志多田静/やく 六耀社 2016.10 ¥2000

1992年10月、アメリカのニューヨーク州ピークスビルで、停車中の赤い自動車に隕石が衝突した。隕石は40億年も前の星のかけら。宇宙から地球に落ちてきたこの隕石が、ワシントンD.C.の国立自然史博物館に展示されるまでをわかりやすく紹介した科学絵本。同シリーズに「スミソニアンに恐竜がやってきた!」「ミュージアムにスフィンクスがやってきた」がある。

<絵本一小学校中学年から>

『シャクルトンの大漂流』 ウィリアム・グリル/作 千葉茂樹/訳 岩波書店 2016.10 ¥2000

1914年8月、シャクルトンと勇敢な隊員たちは、南極大陸横断の大冒険に乗り出した。だが、出航したエンデューアランス号は南極の流水にはおぼまれ座礁し、28人の男たちは極寒の氷上に取り残された。不屈の魂で苦難を乗り越えた彼らは、全員で奇跡の生還を果たす。実話を絵本にした著者は、この作品で2015年度ケイト・グリーナウェイ賞を史上最年少の25歳で受賞。

<読み物一小学校低学年から>

『りこうな子ども アジアの昔話』 松岡享子/編・訳 下田昌克/絵 こぐま社 2016.10 ¥1200

人さらいにあった少年が、その男から逃れるために考え出した作戦とは？ 老いぼれた祖父を山に捨てに行こうとする父親を止めるには？ 自分そっくりにならなくて家に入り込んだ幽霊を退治するには？ インドネシアの「りこうな子ども」、ネパールの「ドコ（竹かこ）」、インドの「バラモンの若者とゆうれい」の3話を収録。『アジアの昔話』福音館書店刊を底本として、加筆修正したもの。

『おこぼろ』 くすのきしげのり/作 伊藤秀男/絵 PHP研究所 2016.10 ¥1200

母鬼が亡くなり一人ぼっちのおこぼろ。人間を警戒していたが、やがて村の子どもたちと一緒に遊ぶように。しかし、村の大人たちは、鬼の子は悪さをするのでほと心配し、疎ましく思っていた。ある日、大雨で村が流されそうになると、村の者たちは、力もち

のおこぼろに、大岩を動かして水をためてもらおうと話をもちかけるが…。大人の身勝手さとおこぼろの切ない思いが心に響くお話。

＜読み物一小学校中学年から＞

『ミミとまいごの赤ちゃんドラゴン』 マイケル・モーパゴ/作 ヘレン・スティーヴンス/絵 おびかゆうこ/訳 徳間書店 2016.10 ¥1700

ドルタ村の少女ミミが、クリスマスの朝出会ったのは、緑色の小さな赤ちゃんドラゴン。ミミの住む村では、何よりもおそろしく、危険なものは、山に住むドラゴンだと言われていた。この赤ちゃんを誰にも分からないようにそと山奥のドラゴンの城に送り届けなくちゃ大変なことになる…。ドルタ村で、毎年選ばれる者が、クリスマスに語って聞かすという、心あたたまるファンタジー。

『笑われたくない!』 手嶋ひろ美/作 大庭賢哉/絵 文研出版 2016.9 ¥1200

手足が生まれつき不自由な小4の結花は、かくし芸で小雪と二人羽織をすることに。小雪が羽織から出した手は、思い通りに動いてくれ、結花は、手が自由に動く気分になれる。二人羽織でうまくパンケーキが食べられるようにと練習するが、同じ班の子に、「笑われてこそ大成功だろ」と言われる。馬鹿にされて笑われるのは嫌なのに…。脳性まひをもつ作者のあとがきが勇気をくれる。

＜読み物一小学校高学年から＞

『金魚たちの放課後』 河合二湖/著 小学館 2016.9 ¥1400

小5の1学期に蓮実が転入してきた町は、金魚の養殖が盛んな町。転校する前から家で金魚を飼っていた蓮実は、この町でも卵から孵化させた金魚を順調に育てた。一方、クラスメイトの真実、生き物を育てるのが苦手。二人は、慎が金魚を1年間生き延びさせられるか、賭けをすることに。中2になった蓮実は、春にはまた転校することが決まり、友だちとの別れに悩む。作者は山口県出身。

＜読み物一中学生から＞

『夜露姫』 みなと董/著 講談社 2016.9 ¥1300

時は平安。帝から賜った名笛『黒鶉』が盗まれた責任から父が亡くなり、15歳で天涯孤独となった晶姫は、ひよんなことから盗賊「狭霧丸」の一味に。夜露と名乗り、夜盗の一味として金持ちの家を襲撃するうちに、名笛『黒鶉』が、御所より警備の厳しい左大臣屋敷にあることを知る。一計を案じた狭霧丸は…。講談社児童文学新人賞佳作の本作品は、今年22歳になった作者のデビュー作。

『ミスターオレンジ』 トゥルース・マティ/作 野坂悦子/訳 朔北社 2016.9 ¥1500

1943年～1945年のニューヨーク。八百屋の少年ライナスは、尊敬する長兄の出兵を誇りに思っていたが、戦争の現実を少しずつ知り…。一方で、ナチスから逃れてきた画家「ミスターオレンジ」の三原色で未来を描こうとする姿に魅かれたライナスは、自分自身の考えを持ち始める。オランダ生まれの画家ピート・モンドリアンをモデルにした作品。2014年バチエルダール賞受賞。

『ハリー・ポッターと呪いの子 第一部・第二部』 J.K.ローリング、ジョン・ティファニー、ジャック・ソーン共著、松岡祐子/訳 静山社 2016.11 ¥1800

「ハリー・ポッターと死の秘宝」の戦いから19年。魔法省執行部部長となったハリーの次男アルバスとドラコの息子スコープスの友情や、父と息子の葛藤を中心に、「逆転時計」が巻き起こす魔法界の危機的状況を描く。舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の特別リハーサル版の脚本。過去と現在を行き来するので、これまでのシリーズの内容を知っていることを前提に楽しむ作品。

＜ノンフィクション一小学校低学年から＞

『どんぐり図鑑』 宮國晋一/写真・文 汐文社 2016.9 ¥3200

しばらく待てば、シイのようにおいしくなるからマテバシイ、日本人の生活に役立つ「国の木」（クニノキ）が転じたクヌギ等、名前の秘密が分かる図鑑。日本産どんぐり22種類と外国産どんぐり18種類を、分類・形態・分布・実る時期などのデータとともに紹介する。実物大のどんぐりはもちろん、葉や木全体の写真も掲載され、拾ったどんぐりの名前を調べるのに参考になる。

『わたしたちのカメムシずかん』 鈴木海花/文 はたこうしろう/絵 福音館書店 2016.11 ¥667

農作物を食いあらし、建物の中に入り込む、やっかいものカメムシ。山あいの町、岩手県葛巻町の校長先生が、このカメムシをつかまえて調べようと小学生に提案。図鑑で名前を調べ、採集場所等の記録をつけ、標本に。冬には、見つけた35種のカメムシの記録を「カメムシずかん」にまとめ、一人に一冊ずつ配ったという1年間の記録。月刊「たくさんのふしぎ」第380号。

＜ノンフィクション一小学校中学年から＞

『トイレの自由研究 ②紙でふく・手でふく!?!～異文化・国際理解編』 夢のお仕事さがし大図鑑編集委員会/編 屎尿・下水研究会/監修 2016.9 ¥3000

扉も隣りの人との仕切りもないトイレ。おしりをふく紙がなく、桶に水が溜めてあるトイレ等。国が変わればトイレも変わる。生活の中で欠かせない場所であるトイレについて、多様な角度から紹介する本。自分たちの風俗や習慣と異なることに対してからかったり批判したりしてはいけないとの但し書きも多く掲載。「おしりを洗う習慣ができた!」、「うんこ友だち!?!」の全3巻。

＜ノンフィクション一小学校高学年から＞

『いのちって、なんだろう?』全3巻 細谷亮太/監修 フレーベル館 2016.9 ¥3400

一番大事で不思議な「いのち」について考えよう。命についての科学的な説明だけでなく、命を考える時のポイントや考えてほしいことを、吹き出しやアイコンで表示。それを読んで、自分の考えと比べたり、考えをもっと深めるために役立たせることができる。命に関する本や名言も紹介。「いのちはどこからきたの?」、「いのちに終わりはくるの?」、「いのちはなぜたいせつなの?」の全3巻。

＜ノンフィクション一中学生から＞

『冒険登山のすすめ 最低限の装備で自然を楽しむ』 米山悟/著 筑摩書房 2016.10 ¥820

日常生活で失っている探検心と発見心を取り戻し、日常では味わえない底なしの「自由」感を体験してほしいと、自分の力で登って一泊して帰れるふるさとの山登りに必要な支度や歩き方など詳しく紹介。さらに、筆者自身が高校生から北大山岳部時代を経て現在に至るまで実践してきた、便利な道具に頼らず自分の力で自然を満喫する登山の方法と楽しさを伝授する。ちくまプリマー新書。

＜研究書＞

『大人に贈る子どもの文学』 猪熊葉子/著 岩波書店 2016.8 ¥2100

児童書が文学と認識されていなかった時代から研究を始め、英国オックスフォード大学でJ.R.R. トールキンの指導を仰ぎ、児童文学研究者の先駆けとなった著者が、自分自身の体験から子どもの文学の価値について掘り起こす。後半は、主要な子どもの文学作品の価値とそれを生み出した作家の動機を解明し、人間にとっての幸せを描く子どもの本の世界へ、大人の読者を誘う。

【県内の動き】

★絵本で子育て応援講座～第6回孫ができればら番ですよ!～

○日時：平成28年12月3日(土) 10:00～11:30 ○会場：山陽小野田市立中央図書館 2階 第1会議室

○講師：村中 李衣氏(児童文学作家) ○定員：30名(要申込み) ○参加費：無料

○照会先：山陽小野田市立中央図書館 (TEL:0836-83-2870)

★読みきかせ絵本を楽しむ会

○日時：平成28年12月8日(木) 10:00～12:00 ○会場：山陽小野田市立中央図書館 2階 第1会議室

○対象：絵本の読み聞かせ活動に関心のある大人(初心者向き) ○定員：15名(要申込み) ○参加費：無料

○照会先：山陽小野田市立中央図書館 (TEL:0836-83-2870)

※子どもの本や読書についてのイベント情報をお寄せください。